

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町村名	字名等	事業概要	事業費 (千円)
防災・安全交付金事業	(国) 4 1 4 号	沼津市	杉崎町	無電柱化	750,000
防災・安全交付金事業	(主) 修善寺戸田線	沼津市	戸田	歩道整備	150,000
防災・安全交付金事業	(一) 伊豆長岡三津線	伊豆の国市	長岡	歩道整備	260,000
防災・安全交付金事業	(主) 吉田大東線	牧之原市	勝間	歩道整備	150,000
防災・安全交付金事業	(一) 磐田掛川線	袋井市	浅岡	歩道整備	180,000
防災・安全交付金事業	(主) 藤枝黒俣線ほか	藤枝市内		自転車通行空間	150,000
防災・安全交付金事業	(国) 4 1 4 号ほか	沼津市内		自転車通行空間	150,000
防災・安全交付金事業	(国) 1 3 5 号	熱海市	熱海	曾我浦大橋 橋梁耐震対策工	210,000
防災・安全交付金事業	(国) 3 6 2 号	川根本町	東藤川	要害橋 橋梁耐震対策工	210,000
防災・安全交付金事業	(一) 富士富士宮線	富士宮市	久沢	曾我大橋 橋梁耐震対策工	208,000
防災・安全交付金事業	(一) 磐田袋井線	磐田市	三ヶ野	三ヶ野高架橋ランプB 橋梁耐震対策工	700,000

各事業箇所の概要等は別紙 3 のとおり

事業名：防災・安全交付金（交通安全）

路線名：国道 4 1 4 号

## 1 事業概要

全体事業費：	750 百万円
計画期間：	平成 30～30 年代中期（予定）
計画概要：	無電柱化

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、一般国道 4 1 4 号（沼津市杉崎町）の無電柱化事業である。本区間は約 26,000 台/日の自動車交通が集中している中、多くの歩行者や自転車に利用されているが、通行に必要な歩道幅が確保されていない。特に通勤・通学で集中する時間帯には、歩行者等が車道へはみ出す状況にあるため、歩道と自転車道の整備と合わせ電線類を地中化することで安全な歩行空間を確保するものである。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路/交通量 ほか	1 1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	静岡県無電柱化推進計画	1 A
重要性	既存計画への位置付け	通学路安全プログラム	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道整備と合わせて実施	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得済	3 A
計			1 S 1 7 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（交通安全）

路線名：主要地方道修善寺戸田線（沼津市戸田）

## 1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成30～32年度（予定）
計画概要：	歩道整備

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道修善寺戸田線（沼津市戸田）における歩道整備である。戸田小学校及び戸田中学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備により安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路／交通量 ほか	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路安全プログラム	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元要望	1 A
計			1 S 8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（交通安全）

路線名：一般県道伊豆長岡三津線（伊豆の国市長岡）

## 1 事業概要

全体事業費：	260百万円
計画期間：	平成30年度～平成30年代中期（予定）
計画概要：	歩道整備

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道伊豆長岡三津線（伊豆の国市長岡）における歩道整備である。長岡南小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道が狭く歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備により安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路／交通量 ほか	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路安全プログラム	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	事業着手準備制度	4 A
計			1 S 1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（交通安全）

路線名：主要地方道吉田大東線（牧之原市勝間）

## 1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成30年度～平成30年代中期（予定）
計画概要：	歩道整備

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道吉田大東線（吉田町勝間）における歩道整備である。勝間田小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備により安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路／交通量 ほか	5 A
	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合		
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路安全プログラム	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	事業着手準備制度	4 A
計			1 S 1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（交通安全）

路線名：一般県道磐田掛川線（磐田市浅岡）

## 1 事業概要

全体事業費：	180百万円
計画期間：	平成30年度～平成30年代中期（予定）
計画概要：	歩道整備

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道磐田掛川線（磐田市浅岡）における歩道整備である。当区間は浅羽北小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備により安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路安全プログラム	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	事業着手準備制度	4 A
計			1 S 1 0 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（交通安全）

路線名：主要地方道藤枝黒俣線ほか（藤枝市内）

### 1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成30年度～平成30年代中期（予定）
計画概要：	自転車通行空間整備

### 2 目的・必要性

<p>本区間は、藤枝市自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間整備である。安全な自転車の通行環境を向上させるため、矢羽型路面表示等により、自転車通行空間の確保を図るものである。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	藤枝市自転車ネットワーク計画 ほか	7 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	自転車通行空間の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内で空間整備	2 A
計			1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（交通安全）

路線名：国道414号ほか（沼津市内）

## 1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	自転車通行空間整備

## 2 目的・必要性

<p>本区間は、沼津市自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間整備である。安全な自転車の通行環境を向上させるため、矢羽型路面表示等により、自転車通行空間の確保を図るものである。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	沼津市自転車ネットワーク計画 ほか	8 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	自転車通行空間の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内で空間整備	2 A
計			1 2 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）



## 事業名：防災・安全交付金事業

## 路線名：(国) 135 号 熱海市熱海（曾我浦大橋）橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	210 百万円
計画期間：	平成 30 年度～平成 32 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

## 2 目的・必要性

(国) 135 号は静岡県地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

## 3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当（第 1 次緊急輸送路）	○
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		緊急輸送路に該当（第 1 次緊急輸送路）	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性		「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性			
熟度	事業の熟度（執行の環境）			
計				

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(国) 362号 川根本町東藤川(要害橋) 橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	210百万円
計画期間：	平成30年度～平成32年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

## 2 目的・必要性

(国) 362号は静岡県の地域防災計画において、第2次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

## 3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当(第2次緊急輸送路)	○
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		緊急輸送路に該当(第2次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性		「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性			
熟度	事業の熟度(執行の環境)			
計				

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

## 事業名：防災・安全交付金事業

## 路線名：(一) 富士富士宮線 富士宮市久沢（曾我大橋）橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	208百万円
計画期間：	平成30年度～平成32年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

## 2 目的・必要性

(一) 富士富士宮線は静岡県地域防災計画において、第2次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当（第2次緊急輸送路）	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路に該当（第2次緊急輸送路）	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」より前 (適用道路橋示方書：昭和31年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

## 事業名：防災・安全交付金事業

## 路線名：(一) 磐田袋井線 磐田市三ヶ野 (三ヶ野高架橋ランプB) 橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	700百万円
計画期間：	平成30年度～平成34年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

## 2 目的・必要性

(一) 磐田袋井線は静岡県地域防災計画において、第2次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (第2次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路に該当 (第2次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)